

単語の意味の変化

nice という語の歴史

Language Myths

edited by Laurie Bauer & Peter Trudgill
(Penguin Books, 1998, pp.1-2)より

意味の変化

- 一般に語の意味は時代とともに変わることが多い。
- 変わりにくいのは身体用語や親族用語などごく基本的な語彙くらいだ。
- 意味の変わり方には、大きく分けて4つある。
 1. 上昇
 2. 下降
 3. 拡大
 4. 縮小

nice という語の語源

インド・ヨーロッパ語の2つの語根の組み合わせ

ne (not)

+

skei (to cut)

→ 究極的には

nice の語源は not to cut

意味の変化

- 意味の変わり方には、大きく分けて4つある。
 1. 上昇 fond 「愚かな」→「好んで」
 2. 下降 silly 「めでたい」→「おめでたい」
→「ばかな」
 3. 拡大(一般化)
bird 「小鳥」→「鳥」
 4. 縮小(特殊化)
deer 「動物」→「鹿」

nice という語の歴史

インド・ヨーロッパ語の2つの語根の組み合わせ

ne (not)

+

skei (to cut)

→ to distinguish one thing from another)

→ ラテン語 scire (to know) の誕生

nice という語の歴史

skei (to cut

→ to distinguish one thing
from another)

→ ラテン語 scire (to know)

→ ラテン語 **ne**scire (to be ignorant of)

→ ラテン語 **ne**scius (ignorant)

→ 古フランス語 nice (silly)

→ 中英語 nice (foolish, shy) → modest (謙虚な) →
delicate (繊細な) → considerate (思いやりのある)
→ pleasant (楽しい)

→ 現代英語 nice (agreeable (快い、感じのよい))

この間、実に6000年の長い年月が流れている。

to cut を意味する印欧語根 skei
から派生したと考えられる英単語

- excise

(外へ) + cise (切る) という造り

「切り出す、くりぬく」→「切り取る、切除する」

ex. excise a tumor from the patient's stomach

(患者の胃から腫瘍を切除する)

おまけ

to cut を意味する印欧語根 skei
から派生したと考えられる英単語

- incise は in- (中に) + cise (切る) という造り

何かに「切り込みを入れる」、何かを「切開する」

ex. The surgeon was able to incise the abscess
and drain it of pus.

(外科医は膿瘍を切開し、そこから膿を排出
することができた。)

to cut を意味する印欧語根 skei
から派生したと考えられる英単語

- scissors (はさみ)

to cut を意味する印欧語根 skei
から派生したと考えられる英単語

- circumcise は circum- (環状に) + cise (切る) と
いう造り

「環状に切る」→「輪切する、割礼を行う」

ex. be circumcised at birth

(出生時に割礼される)